

The logo for KUBOTEK, featuring the word "KUBOTEK" in a bold, black, sans-serif font. The letter "O" is replaced by a blue circle with a black outline. The background is a light gray with abstract, flowing white lines and circular patterns.

KUBOTEK

2019年3月期 決算報告

クボテック株式会社

概要

- ◎フラットパネルディスプレイ(FPD)分野では、昨年から中国などの大手FPDメーカーの設備投資に慎重な動きが見られるなど、厳しい受注環境となりました。
- ◎当期は、売上は前期を大幅に下回り、営業損益、経常損益ともに赤字となりましたが、当期損益は工場の土地・建物の売却益で、黒字を確保しました。
この主な要因は、主力製品の画像処理外観検査装置で中国向けの案件などが大幅な減収となり、経常損益が大きく悪化しました。
- ◎当面厳しい受注環境が続くものと予想され、当社グループは資産の有効活用と人員の再配置を行い、売上確保に向けた受注努力とコストダウンに取り組むとともに、新製品の開発や新規事業の立上げを加速し、収益力向上に努める所存です。

経営成績

連結

(単位:百万円)

	当期 (2019年3月期)	前期 (2018年3月期)	来期予想 (2020年3月期)
売上高	1,637	3,263	2,600
営業利益	△ 742 (△45.4%)	195 (6.0%)	30 (1.2%)
経常利益	△ 632 (△38.6%)	183 (5.6%)	20 (0.8%)
当期純利益	102 (6.3%)	122 (3.8%)	10 (0.4%)

◎当期は、主力の画像処理外観検査装置が中国向けなどで他社との競合から受注が確保できず、さらに客先都合による納期変更などから、前期に比べ大幅な減収となりました。

◎当社は収益性改善のため採算を重視した営業活動を展開しております。
国内拠点の集約や人員の再配置によって固定費削減と業務効率の改善を図るとともに
新製品、新規事業での販売促進に努める所存です。

貸借対照表

連結

(単位:百万円)

	当期 (2019年3月期)		前期 (2018年3月期)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
流動資産				
現預金	2,260	62.8	1,099	28.6
売上債権	818	22.7	1,313	34.1
たな卸資産	226	6.3	392	10.2
その他	37	1.0	78	2.1
固定資産	258	7.2	964	25.0
資産計	3,600	100.0	3,848	100.0
流動負債	1,307	36.3	2,317	60.2
固定負債	966	26.8	304	7.9
負債計	2,273	63.1	2,621	68.1
資本金	1,951	54.2	1,951	50.7
利益剰余金	△ 576	△ 16.0	△ 679	△ 17.6
その他	△ 48	△ 1.3	△ 45	△ 1.2
純資産計	1,327	36.9	1,227	31.9
負債及び純資産計	3,600	100.0	3,848	100.0

◎総資産は、前期末に比べ、売上債権の減少や固定資産の売却等で、36億となりました。

◎負債は、前期末に比べ、仕入債務が2億1千万円減少するなど、22億7千万円となりました。

◎純資産は、前期末に比べ、純利益の増加などから13億2千万円となりました。

報告セグメント別売上高

(単位:百万円)

	当 期 (2019年3月期)		前 期 (2018年3月期)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
日 本	1,006	61.5	2,670	81.8
米 国	383	23.4	386	11.9
韓 国	247	15.1	206	6.3
計	1,637	100.0	3,263	100.0
うち海外	912	55.7	1,948	59.7

- ◎日本では、主力の画像処理外観検査装置の売上が、中国大手FPDメーカー向けなどが低調で前期に比べ大幅に減少しました。
- ◎米国では、3次元CADソフトウェア「KEYCREATOR」の売上は横這いで、損益は黒字を維持しておりますが、新製品の開発と販売に注力しているところです。
- ◎韓国では、韓国大手FPDメーカー向けの画像処理外観検査装置関連が増収となりました。

キャッシュ・フロー計算書

連結

(単位:百万円)

	当期 (2019年3月期)	前期 (2018年3月期)
I.営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 23	43
II.投資活動によるキャッシュ・フロー	1,284	△ 190
III.財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 89	267
IV.現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 9	8
V.現金及び現金同等物の増加額	1,160	127
VI.現金及び現金同等物の期首残高	1,067	939
VII.現金及び現金同等物の期末残高	2,228	1,067

◎営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少等はあるものの、経常損失の計上などから2千万円の支出となりました。

◎投資活動によるキャッシュ・フローは、3DCADシステムの開発投資などで1億7千万円を支出し、また工場の土地売却で14億7千万円の収入があり、12億8千万円の収入となりました。

◎財務活動によるキャッシュ・フローは、銀行への返済によって9千万円の支出となりました。

受注状況

連結

(単位:百万円)

	当期 (2019年3月期)	前期 (2018年3月期)
受注高	860	1,860
受注残高	788	955

◎当期は、主力製品である画像処理外観検査装置は、中国での受注が減少するなど厳しい受注状況となりました。

◎来期に向けて、有機ELや機能性フィルム向けなど新規分野の開拓も進めることとし、収益性の高い案件を受注する方針です。